



大いちょう

平成31年 1月 8日
さいたま市立高砂小学校

高砂小学校だより 平成30年度 No. 9

048(829)2737

希望に満ちた1年に

校長 並木昌和

新年おめでとうございます。

「己亥（つちのとい）」の年があけました。己亥の年は、“内なる充実をはかり、次の段階の準備をする年”であると言われています。亥年を振り返ってみると、1947年（昭和22年）の日本国憲法発布が象徴的です。本校の今年も、新しい教育課題の解決や150周年記念事業への道筋を確かなものにしていかなければならない大切な年です。

私は小学校時代、毎年必ず高熱を出し学校を何日も休むことがありました。（偏食と扁桃腺が腫れやすいことが原因だったようです。）ある年のこと、高熱で一晩苦しみ、目を覚ました時に母に「〇〇のところにいるお地蔵さんが僕を助けてくれたんだよ。」と口走ったそうです。どうせなにか不思議な夢でも見ていたのだろうと、母は特別気に止めることもなかったそうです。

小学校5年生の年末、微熱が続き学校を休んでいました。朝は元気なので起きて遊びます。夕方になると微熱がぶり返すといったことを繰り返していました。3学期の直前、ある朝突然、布団の中で足が動かなくなっていました。そのまま救急車、病院、入院です。（その年の3学期は1日も学校に通うことができませんでした。）

そんなある日、母は以前私が口走ったお地蔵様のことを思いだし、半信半疑で私が言った場所に行ってみると、確かに言われた通りの場所にお地蔵様がいたそうです。（うっかりすると気がつかないで通り過ぎてしまうような道ばたの小さなお地蔵様です。）大変驚くと同時に、病気で入院中の息子を思いしっかりと参ってきたそうです。

以来、毎年正月になると必ずそのお地蔵様に参っていたとのことでした。その話を母に聞かされ、遅ればせながら私も正月になるとそのお地蔵様を参るようになりました。何年か続けると、いつしか参らないと気持ちが落ち着きません。今年も参ってきました。お地蔵様の周りはずいぶん正月のように綺麗に掃除され、整えられていました。自分以外にもこのお地蔵様を大切に思っている人がいることが、とても嬉しく思えてきました。

私が教員になって間もなく、おもちゃ売り場でファミコン（ファミコンが発売されたのは1983年（昭和58年）の亥年だそうです。）に群がっていた子どもたちの姿から、今日の姿をある程度想像してはいましたが、科学技術や時代の変化は、私たちの想像を超える速さです。そんな時代だからこそ、古くから伝わっている文化や伝統を改めて見つめ直すことも大切だと感じています。

子ども達のよりよい成長のために、希望をもって、高砂小の「己亥」の1年がスタートします。

本年も教育活動へのご支援ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。